

めでたく二十五周年

十月二十二日、土曜市祭足二十五周年を記念して、記念式典と感謝祭が行われました。

昭和四十四年に始まった土曜市は、新鮮な野菜、海産物や、お菓子などを販売し、庶民的な雰囲気住民らに親



しまれてきました。会場では、くす玉が割られた後、人仮装コンテストやじゃんけん大会、市生活環境課が古本や中古玩具などの中古品約百点を安価で販売する、「地球にやさしいくらしフェア」など多様なイベントがありました。

また、昭和五十九年に愛媛県見町市の近永日曜市と姉妹市提携して今年で十周年とあって、同日曜市もみそやしいたげなどの特産品を持ち寄って出店、市民と交流をしました。

土曜市二十五周年と姉妹市提携十周年を記念して、  
V.P.A.H.A.R.I.N.G.S.P.A.K.E.R.I.N.G.

土曜市をモチーフとした写真を対象に「土曜市写真コンテスト」が行われ、次の4つの作品がそれぞれ入賞しました。



理事長賞「彼岸会のごころ」 浜田道子さん



市長賞「土曜市の女」 友永 喬さん

土曜市写真コンテスト  
入賞作品



商工会長賞「散歩」 芝 連三さん



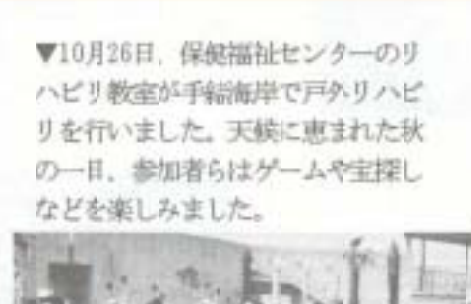
観光協会賞「一杯買ったネ」 村田伸子さん

龍馬をしのぶ

坂本龍馬先生のお地、フ谷で十一月十三日、第三回才谷村龍馬祭が盛りだくさん秋晴れの中、盛大に行われました。今年には整備を進めていた才谷龍馬公園のあずまの落成式も同時に行われ、龍馬研究家・岡林清水さんの記念講演の後、集まった大勢の人はシヤモ鍋や地酒「貫之」に舌つづみを打ちながら、龍馬に思いをはせていました。



▲10月18日、土佐農業共済組合と大豊町農業共済組合が、来年4月の広域合併に向け、土佐農業共済組合会議室で予備調印を行いました。



▲10月26日、保健福祉センターのリハビリ教室が手編海岸で戸外リハビリを行いました。天候に恵まれた秋の一日、参加者らはゲームや宝探しなどを楽しみました。



▲中の川の名水を使った本市初の地酒「貫之」が完成。11月4日、グレース浜すしでそのお披露目が行われました。



▶十一月四日、親から子に伝える伝統料理をテーマに「企業出前講座」(文部省補助事業)が都築訪産高田工場で行われ、生活改善グループの婦人らが女性従業員に郷土料理の指導をしました。

▼11月5日、中央公民館で、県内外の文化会館関係者をパネリストに迎え、文化会館建設に向けてのシンポジウムが行われました。



▼11月6日、土曜市広場で50人近くが出店しフリーマーケットが開かれ、多くの人出でにぎわいました。



▲市内の菊愛好家で作る南国菊栄会が、市役所一階に南国市のマークを掲げた菊などを展示。また市内量販店などでも菊花展を開きました。



▲ひまわり幼稚園に幼年消防クラブが発足。日本防火協会からはっぴが送られました。



▲11月11日、市社会福祉センターで福祉バザーが行われ、多くのお客さんでにぎわいました。なお、収益金は福祉事業に役立てられます。



▲石井地区では塙整地事業がスタート。十一月十日、起工式が行われました。今後土佐山田、野市町をさきめ百二十三号線本市九十六号線の区画整理が行われます。

